

合板工場の荷動き・価格先行き動向調査(25年6月分) 1

1. 調査実施期間 平成25年 5月20日 ～25年6月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
6月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		25/6月	7月	8月
入荷動向	スギ	0.0	0.0	16.7
	ヒノキ	0.0	-33.3	-33.3
	カラマツ	0.0	-16.7	-33.3
	トド	-50.0	0.0	0.0
消費動向	スギ	33.3	16.7	-16.7
	ヒノキ	33.3	33.3	-33.3
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トド	0.0	0.0	0.0
在庫動向	スギ	0.0	-16.7	0.0
	ヒノキ	0.0	0.0	0.0
	カラマツ	0.0	-16.7	-33.3
	トド	-50.0	0.0	0.0

国産原木入荷は、スギは6月のゼロから8月のプラスに、ヒノキ、カラマツは、6月のゼロから8月の比較的大きなマイナスに、トドマツは6月のマイナスから8月に向けゼロに。
消費は、スギ、ヒノキは6月のプラスから8月のマイナスに、カラマツ、トドマツは横ばい。
在庫はスギは6月のゼロから7月のマイナスを経て8月のゼロに、ヒノキは横ばい、カラマツは6月のゼロから8月のマイナスに、トドマツは6月のマイナスから8月のゼロに。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	25/6月	7月	8月
スギ	0.0	16.7	16.7
ヒノキ	50.0	50.0	50.0
カラマツ	20.0	20.0	20.0
米マツ	100.0	50.0	50.0
北洋カラマツ	25.0	50.0	50.0
その他	100.0	100.0	100.0

原木価格は、スギは、6月ゼロから8月に向けプラスに、ヒノキ、カラマツ、米マツ、北洋からマツはいずれもプラス基調で推移。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

- ・スギ原木について需給連絡会議、当社及び県森連とで協定し四半期毎に数量調整。6月は入荷抑え気味。
 - ・スギ、カラマツは生産量に合わせて毎月定量購入。生産品目に合わせて消費。在庫は適正量を維持。
 - ・カラマツ入荷横ばい、トドマツは季節要因もあり一時減少もほぼ横ばい推移の予定。消費はカラマツ、トドマツとも変わらず。在庫も横ばい。
 - ・構造用LVLに国産ざいを使用し、カラマツ主体、生産に合わせて安定的公売・入荷を続ける。消費は大手住宅会社の発注堅調、当面生産増を見込む、比住宅物件も順調。在庫は受注生産でこれにあわせて原木調達、在庫は大きな変化無い。
 - ・国産材在庫多く、虫害時期なので入荷制限、原木出材非常に多く市場にはB材は多い。5月は稼働日数少なかったが6月はフル生産で消費量増加。在庫は5月末時点で増加。
 - ・入荷全般に安定、梅雨に入るとヒノキ少なくなる。消費は通常稼働。在庫も大幅なずれはないと思
- (原木価格)
- ・カラマツ等多少上がっているものもあるが、総じて横ばい。
 - ・スギ、カラマツは現状横ばいも、先行き上昇の可能性もある。
 - ・カラマツ主体に価格も安定したもので御願している。北洋カラマツは中国次第だが、下落を期待、ラワン原木は天井知らず。
 - ・国産材は購入価格あまり変動させず購入も、市場価格と乖離した場合見直し。米マツ産地価格は強気の上げ、ロシア材はアムール材が出材されるため弱気の下げ。
 - ・マツ類上昇と予測。・地域によるが、カラマツは値上がり傾向。

合板工場の荷動き・価格先行き動向調査(25年6月分) 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		25/6月	7月	8月
生産動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃(12mm)	14.3	14.3	14.3
	〃(15mm)	0.0	0.0	0.0
	〃(24mm)	42.9	57.1	57.1
	〃(28mm)	28.6	28.6	28.6
出荷動向	構造用(9mm)	14.3	16.7	16.7
	〃(12mm)	42.9	57.1	42.9
	〃(15mm)	28.6	28.6	28.6
	〃(24mm)	57.1	85.7	71.4
	〃(28mm)	42.9	42.9	42.9
在庫動向	構造用(9mm)	-28.6	-28.6	-33.3
	〃(12mm)	-42.9	-57.1	-42.9
	〃(15mm)	-28.6	-28.6	-28.6
	〃(24mm)	-57.1	-71.4	-57.1
	〃(28mm)	-28.6	-28.6	-28.6

生産は、9mm, 15mmは横ばい12mm, 24mm, 28mmはプラス基調で推移し、特に厚物のプラス幅大きい。
出荷は、いずれもプラス基調で推移するが、特に12mmと厚物のプラス幅大きい。
在庫は、いずれもマイナス基調で推移するが、特に12mm, 24mmのマイナス幅が大きい。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	25/6月	7月	8月
構造用(9mm)	57.1	42.9	57.1
〃(12mm)	57.1	57.1	71.4
〃(15mm)	57.1	57.1	71.4
〃(24mm)	57.1	71.4	85.7
〃(28mm)	57.1	57.1	71.4

構造用合板出荷価格は、いずれの品目も強含みとなっている。

モニターからのコメント

(合板荷動き)

- ・当社生産は全てスギを使用し、ビルダー、公共物件とも出荷増が見込まれる。在庫は必要以上残さぬよう注意。
- ・カラマツ・トドマツは生産、出荷、在庫は横ばい。
- ・カラマツ・トドマツは需要動向に合わせ増産努力。出荷は木材利用ポイント、消費税駆け込み需要も加わり先行き出荷増と予想。在庫水準低い中での横ばい推移と予想。
- ・生産動向に大きな変化ない。特殊用途に針葉樹合板少量生産。出荷はエコポイント、地産地消対応商品の引き合い増、先行き若干出荷増と思われるがおおむね変化なし。在庫は減少傾向と予想。
- ・出荷動向見ながらの生産で大きな変動はない。当月は梅雨期で現場高次に遅れの可能性あるが材料調達はそのまま進みそう。在庫水準低いいためこれ以上の減少考えにくい。
- ・生産・出荷とも厚物中心になる。全般に在庫少くないので増加しないと見込む。
- ・生産・出荷は、大手メーカーが品薄状態のため弊社にもオーダーが入っている。

(合板価格)

- ・7月～8月についてはアップ見込む。国産材は微増、輸入材は為替、現地高要因の懸念大。
- ・カラマツ等当月まで緩やかな上昇、7月からは横ばいか多少アップを期待。
- ・カラマツ・トドマツはこれから需要伸び、品薄感加速し価格強含みと予想。
- ・接着剤他コスト上昇、需給動向から見ての不足感続き、当面上昇と予想。
- ・円安進めば原材料、接着剤、エネルギー代更なるコストアップも考えられる。
- ・厚物中心に上昇と予想。
- ・品薄状況のため上昇の見通し。